

実務経験のある教員による授業科目の一覧（2019年度）

教員名	実務経験	科目名	単位	「実務経験を当該科目の授業にどのような所で生かしてどのような教育を行うのか」（250字程度）	全学共通科目・ 学部等共通科目・ 専門科目
1 田辺 隆司	特別民間法人	<a href="#">環境科学論</a>	2	本講義では、作業場の衛生管理を実践するための知識と技能を修得します。また、作業環境の改善における諸問題を、衛生管理者としての確に解決できる能力を身につけます。そのために作業環境測定士として、衛生管理者と連携して作業環境を把握する業務を遂行したことを授業に活かします。具体的には、作業者の健康保持の観点から、有機溶剤や粉じん等の有害要因を除去して、良好な作業環境を実現するための作業環境管理や作業管理等を取り上げます。さらに、労働衛生管理の基本概念から日常の様々な職務まで幅広くかつ詳細に授業を展開します。	学部等共通科目
2 佐藤 千歳	報道関係	<a href="#">現代中国論A</a>	2	「現代中国論A」は、19世紀後半の清帝国の衰退から、日中戦争で中華民国が勝利するまでの中国近代史を俯瞰する授業である。ただし、この時期の中国史は、現在の中国共産党政権の歴史観やイデオロギー、政治構造と密接な関係にある。担当教員の佐藤は、北海道新聞社（本社・札幌市）の国際部記者および北京支局長としてアジア・中国報道に従事した実務経験を有する。授業では、中国近代史が現代の中国政治や社会に与える影響や、日中関係に及ぼす影響について、担当教員の中国での取材経験を踏まえながら解説し、履修者が近現代の中国史をより立体的に捉えられるような授業を展開している。	学部等共通科目
3 佐藤 千歳	報道関係	<a href="#">現代中国論B</a>	2	「現代中国論B」は、1949年の中華人民共和国建国宣言以降の、中国現代史を主題とする授業である。さらに、中国現代史の知識をもとに、安定的な日中関係を築く妨げとなってきた要因を探り、東アジアの将来像について履修者が自分なりの展望を持てるよう指導している。担当教員の佐藤は、北海道新聞社（本社・札幌市）の国際部記者および北京支局長としてアジア・中国報道に従事し、領土主権、少数民族、民主化問題など、現代中国と日中関係の主要な課題を長期的に取材した実務経験を持つ。授業では、こうした取材経験と自身が執筆した論文・記事などを活用しながら、中国史を現代の政治・社会的文脈のなかに位置づけ、生きた歴史として履修者の理解を促すような指導を実施している。	学部等共通科目
4 加藤 由紀子	航空会社	<a href="#">観光ビジネス論</a>	2	当講義では、特に運輸交通業、旅行業、宿泊業などに焦点を当てて、特徴や歴史や果たすべき役割、業務の変遷について講義形式で開講している。実務経験については、航空業界の14年余年の間に、航空旅客だけでなく、ホテルや旅行者との関連業務をおこなっていたため、幅広い基礎知識を有している。また、もともと変化の大きい業界であるため、現役時代から様々な折にブラッシュアップする習慣が身につけているため、できるだけ最前線の情報をわかりやすく分析して講義に盛り込んでいる。	学部等共通科目
5 山田 勅之	旅行代理店	<a href="#">観光文化論</a>	2	文化的事象が観光の対象となるのは多岐にわたります。すなわち、伝統文化、文化遺産、宗教、料理、工芸品、習俗など極めて幅広いものです。観光学では「観光客のまなざし」、「真正性」、「伝統の創造」といった分析視角を用いて、その実態を明らかにする研究が進められています。本講義では、これらの理論を踏まえながら、旅行会社での勤務時に得たパッケージツアーの企画及び海外添乗業務の経験を加味して、文化遺産や歴史的景観がどのようにして観光によって変容していくのか、そして商品化されていくのか、といった問題について解説していきます。以上から実践的な力を身につけます。	学部等共通科目
6 山田 勅之	旅行代理店	<a href="#">旅行業実務</a>	2	本講義では、パッケージツアーの企画・旅行素材の仕入れ（航空座席、ホテルの部屋など）・見積・パンフレット作成・カウンターでの販売・営業・添乗など、第1種旅行業における一連の業務経験を、実践的実務（見積、チケットの構成、旅行業約款）の解説及び実習に活かします。また、同時に旅行商品の特性、それに伴う旅行会社の業態、及び流通経路の実態とその問題点の指摘、さらにIT化に伴う旅行業界の変容と将来像についても、実務経験を踏まえながら解説していきます。以上から実践力の向上を目指します。	学部等共通科目
7 山田 勅之	旅行代理店	<a href="#">ツーリズム研究</a>	2	観光学では、ツーリズムの特徴や性格に応じて、分類がなされています。その中で割合新しい形態のものとして、エコツーリズム、ヘリテージツーリズム、宗教ツーリズム、エスニックツーリズム、ダークツーリズムなどが挙げられます。また、観光の対象とされる資源、あるいはアイテムとして、世界遺産、聖地、みやげものなどが特に研究の対象とされます。本講義ではこれらがどのように商品化されて、観光客が消費していくのか、先行研究が提示する理論を踏まえながら、パッケージツアーの企画及び海外添乗業務など旅行会社勤務時に得た実務経験と比較しつつ、その実情を解説していきます。以上から実践的な力を身につけます。	学部等共通科目
合計			14		